

令和5年度事業

三 川 町 行 政 評 価 調 書

【施策評価調書】

令和6年9月

三 川 町

令和5年度事業 三川町行政評価調書 評価対象項目一覧（目次）

基本 目標	施策 項目	事業名	所管課等	ページ		
				施策	分科会	事務 事業
1-1	子育てしやすいまちづくりの推進					
	1	妊娠・出産		1	①	
		1 母子保健事業	健康福祉			25
	2	保育・幼児教育		2	①	
		2 保育園幼稚園感性情操教育推進事業	健康福祉			27
	3	学校教育		3	②	
		3 外国語活動推進事業	教育委員会			56
		4 育英奨学資金造成事業	教育委員会			57
		5 教育課題研究推進事業	教育委員会			58
		6 特別支援教育等推進事業	教育委員会	4		59
		7 小学校教育情報化推進事業	教育委員会			60
		8 小学校感性情操教育推進事業	教育委員会			61
		9 中学校教育情報化推進事業	教育委員会			62
		10 中学校通学バス支援事業	教育委員会			63
		11 学力向上対策事業	教育委員会			64
		12 中学校感性情操教育推進事業	教育委員会	5		65
		13 教育施設整備基金造成事業	教育委員会			66
		14 中学校施設等整備事業	教育委員会			67
	4	子育て支援		6	①	
		15 子育て支援センター事業	健康福祉			28
		16 出産祝金事業	健康福祉			16
		17 子育て支援医療給付事業	町民			15
		18 学童保育支援事業	健康福祉	7		29
	5	青少年健全育成		8	②	
	19 放課後子ども教室推進事業	教育委員会			71	
1-2	生涯学ぶことができる地域社会の実現					
	1	社会教育		9	②	
		20 社会教育団体等活動推進事業	教育委員会			72
		21 成人式開催事業	教育委員会			73
		22 生涯学習活動実践事業	教育委員会			74
		23 町内会公民館等整備事業	教育委員会	10		75
	2	スポーツ振興		11	②	
		24 社会体育団体等活動推進事業	教育委員会			76
		25 生涯スポーツ推進事業	教育委員会			77
	3	芸術文化振興		12	②	
		26 文化財保護保存事業	教育委員会			78
	27 文化交流館事業	教育委員会			79	

基本 目標	施策 項目	事業名	所管課等	ページ			
				施策	分科会	事務 事業	
2-1	誰もが健康で幸せに過ごせる共生社会の実現						
	1	地域福祉		13	①		
		28	社会福祉法人等支援事業（社会福祉総務費）	健康福祉			17
		29	生活支援事業	健康福祉			18
	2	高齢者福祉		14	①		
		30	在宅介護支援事業	健康福祉			24
		31	寿賀敬老事業	健康福祉			19
		32	高齢者地域活動支援事業	健康福祉			20
		33	高年齢者就業機会確保事業	健康福祉	15		21
	3	障害者福祉		16	①		
		34	障害者在宅生活等支援事業	健康福祉			22
		35	社会福祉法人等支援事業（障害者福祉費）	健康福祉			23
	4	健康づくり		17	①		
36		健康増進事業	健康福祉			26	
2-2	安全で安心して暮らせる強靱なまちの実現						
	1	防災・危機管理		18	③		
		37	自主防災組織育成助成事業	総務			1
		38	地域防災事業	総務			2
		39	公共施設等長寿命化対策事業	学校教育・ 社会教育			70
	2	消防・救急・医療		19	③		
		40	常備消防事務委託事業	総務			3
		41	消防ポンプ整備事業	総務			4
3	防犯		20	③			
	42	安全で明るい町づくり推進整備事業	総務			5	

基本 目標	施策 項目	事業名	所管課等	ページ		
				施策	分科会	事務 事業
3-1	活力に満ちた産業の育成と雇用の創出					
	1	農業振興		21	④	
		43 食のまちづくり推進事業	産業振興			30
		44 新農業所得構造改革推進事業	産業振興			31
		45 国営水利施設管理体制整備促進事業	産業振興			32
		46 土地改良施設整備事業	産業振興	22		33
		47 リーディングファーマーズ銀行事業	産業振興			34
		48 農用地保全活動推進事業	産業振興			35
		49 環境にやさしい農業推進事業	産業振興			36
		50 地域農業担い手育成推進事業	産業振興			37
	2	商工振興		23	④	
		51 中小企業等振興支援事業	産業振興			39
	3	特産品開発		24	④	
		52 「田から(宝)もの」逸品開発事業	産業振興			40
4	雇用対策		25	④		
	53 勤労者福祉対策支援事業	産業振興			41	
3-2	みかわブランドをいかした交流人口・関係人口の拡大					
	1	観光振興		26	④	
		54 「いろり火の里」推進事業	企画調整			6
		55 観光対策事業	産業振興			42
	2	交流		27	④	
		56 結婚推進事業	企画調整			9
		57 ふるさと会交流促進事業	産業振興			43
		58 国際交流推進事業	教育委員会			68
	3	移住・定住		28	③	
		59 移住定住促進事業	建設環境			45
	60 若者定着奨学金返還支援事業	産業振興			44	

基本 目標	施策 項目	事業名	所管課等	ページ		
				施策	分科会	事務 事業
4-1	安定した生活基盤を支えるインフラ整備					
	1	土地利用		29	④	
		61 地域開発推進事業	企画調整			7
	2	道路・側溝等整備		30	③	
		62 道路舗装事業	建設環境			46
		63 側溝整備事業	建設環境			47
		64 橋梁長寿命化対策事業	建設環境			48
	3	交通体系		31	④	
		65 高速交通網整備促進対策事業	企画調整			8
		66 地域公共交通推進事業	企画調整			10
	1 2	上下水道（下水特会）		32	③	
		67 下水道事業	建設環境			51
4-2	自然と調和した住環境の整備					
	1	住環境		33	③	
		68 住まいづくり支援事業	建設環境			49
		69 雨水対策推進事業	建設環境			52
	2	空き家等対策		34	③	
		70 空き家対策支援事業	建設環境			50
	4	廃棄物処理		35	③	
		71 ごみ減量化等促進対策事業	建設環境			53
		72 廃棄物処理事業	建設環境			54
	5	環境対策		36	③	
		73 みどり豊かな環境づくり推進事業	産業振興			38
		74 地球温暖化防止推進事業	建設環境			55
4-3	町民総参加によるまちづくりの推進					
	1	町民参画		37	④	
		75 協働のまちづくり推進事業	企画調整			11
		76 地域づくり活動推進事業	企画調整			12
	2	行財政改革		38	③	
		77 電子自治体推進事業	企画調整			13
		78 戸籍システム推進事業	町民			14
79 学校給食調理業務等委託事業		教育委員会			69	

令和５年度 施策評価調査書

基本目標 (政策) ※第4次	41 子育てしやすいまちづくりの推進		
施 策 ※第4次	01 妊娠・出産		
内 容	【現 状】 少子化・核家族化の傾向は続いており、子育て家庭の経済的・精神的支援とともに、子育てを社会全体で支えあう環境の整備が求められている。 そのなかで、健やかに産み育てる環境を整え、妊産婦・乳幼児の健康の確保、子育て親子の交流、育児不安の軽減を図るとともに、関係機関と連携しながら子育て支援を行う。また、予防接種により疾病予防につなげる。 【課 題】 子育て家庭の価値観の多様化や要望等にも配慮しながら、子育て支援に取り組む必要があるが、これらの事業の多くは、国・県の施策によるところが大きく、その動向を踏まえて町としての施策を考える必要がある。		
【外部評価結果】 ① 概ね良好 ② 一層の拡充が必要 ③ 縮小の方向で検討すべき ④ 一部改善が必要		【所 見】 他市町と比べると、町民と保健師の距離が近く、また、きめ細やかな対応が評価できる。	
【事 業】 1 母子保健事業	【所 管】 健康福祉課健康係	【評価結果】： A 達成できている 【今後の方向性】： 2 現状維持 【所 見】：	
【取 組】 ○妊婦・乳幼児健診の実施 ○妊産婦・乳幼児相談指導等の実施 ○子育て学習会・歯科保健の実施 ○産前・産後の妊産婦に対する支援		妊産婦・乳幼児共にきめ細かな対応の必要なケースが増加しており、関係機関との連携を図りながら支援を実施している。母子健康包括支援センターでは、妊娠から出産までの包括支援事業や産後ケア事業を実施し、切れ目のない支援体制整備を図っている。	
【事 業】	【所 管】	【評価結果】： 【今後の方向性】： 【所 見】：	
【取 組】			
【事 業】	【所 管】	【評価結果】： 【今後の方向性】： 【所 見】：	
【取 組】			

令和５年度 施策評価調査

基本目標 (政策) ※第4次	41 子育てしやすいまちづくりの推進		
施 策 ※第4次	02 保育・幼児教育		
内 容	【現 状】 家族形態や就労形態の変化などにより、保育に対するニーズがますます多様化しているなか、保育園2か所、幼稚園1か所、認定こども園1か所において幼児教育・保育を実施している。幼児の心身の健やかな成長を図るため、保育環境・幼児教育環境の整備を進めるとともに、一人ひとりに応じて適切できめ細かな幼児教育を推進していく。 【課 題】 心身の健やかな成長を図るため、芸術文化に間近で触れ体験することにより、園児の豊かな感性と情緒を育むことが必要である。		
【外部評価結果】 ① 概ね良好 ② 一層の拡充が必要 ③ 縮小の方向で検討すべき ④ 一部改善が必要		【所 見】 各々の園の教育の特色から希望する園を選択できる配慮が必要ではないか。 また、みかわ保育園・幼稚園で実施している感性情操教育に他園からの参加も可能にすれば、町全体の感性情操教育の向上に繋がるのではないか。	
【事 業】 2 保育園幼稚園感性情操教育推進事業	【所 管】 子育て支援室子ども支援係	【評価結果】： A 達成できている 【今後の方向性】： 2 現状維持 【所 見】： 感性・情操を豊かにするためには、幼児期に芸術文化に触れ、長い時間をかけて育成し、継続することで効果が期待できるものであるため、引き続き事業を行うことが必要である。	
【取 組】 ○保育園幼稚園における芸術文化体験事業の実施			
【事 業】	【所 管】	【評価結果】： 【今後の方向性】： 【所 見】：	
【取 組】			
【事 業】	【所 管】	【評価結果】： 【今後の方向性】： 【所 見】：	
【取 組】			

令和５年度 施策評価調書

基本目標 (政策) ※第4次	41 子育てしやすいまちづくりの推進		
施 策 ※第4次	03 学校教育		
内 容	【現 状】 ○確実な学力習得に対する支援 ○多様な教育課題への対応 ○保・幼・小・中の連携と一貫性のある教育の推進 ○安全、安心な教育環境の整備 「知・徳・体」の調和のとれた学校教育により、生きる力を培うことが求められている。 ○GIGAスクール構想に基づき整備したタブレットの耐用年数を迎えており、更新時期が迫っている。 ○東郷、横山小学校の大規模改修の時期を迎えている。 【課 題】 習熟度に応じた学習指導体制や障害の程度や発達段階に応じた特別支援教育体制を整えることにより、「知・徳・体」の調和のとれた教育を推進することが課題となっている。 また、増えつつある軽度発達障害を抱える児童生徒に対しては、個別的な対応支援が必要な状況にある。タブレットの大規模更新及び東郷、横山小学校の大規模改修に係る予算確保が必要となっている。		
【外部評価結果】 ① 概ね良好 ② 一層の拡充が必要 ③ 縮小の方向で検討すべき ④ 一部改善が必要		【所 見】 GIGAスクール構想の推進に際しては、各家庭のオンライン環境整備に配慮する必要がある。育英奨学資金については、令和５年度に貸付け対象となる学校種を拡大したものの、申し込みが少ない状況である。国等の育英奨学資金の活用等との兼ね合いもあるが、効率よい利用がなされるよう、一層の周知が必要である。	
【事 業】 3 外国語活動推進事業	【所 管】 教育委員会教育課 学校教育係	【評価結果】： A 達成できている	
【取 組】 ○英語指導員と英語指導助手（ALT）の配置		【今後の方向性】： 2 現状維持	
		【所 見】： ALT及び英語指導員の活用は児童・生徒の英語に対する関心と授業における積極性向上につながっている。また、幼児・学童期に英語を正しく流暢に話せる人との会話を経験することは非常によい体験であることから、今後も引き続き継続していく必要がある。	
【事 業】 4 育英奨学資金造成事業	【所 管】 教育委員会教育課 学校教育係	【評価結果】： B 概ね達成できている	
		【今後の方向性】： 2 現状維持	
【取 組】 ○育英奨学資金貸付のための基金造成・運用		【所 見】： 育英奨学資金事業を円滑に推進するため、基金造成事業を行っている。貸付や償還がほぼ計画通りに執行できており、安定した基金運用が行われているため、今後も継続した取り組みが必要である。 また、令和５年度から貸付対象となる学校種（大学院、専門学校）を拡大し、幅広く貸付事業の周知を図っている。	
【事 業】 5 教育課題研究推進事業	【所 管】 教育委員会教育課 学校教育係	【評価結果】： B 概ね達成できている	
		【今後の方向性】： 2 現状維持	
【取 組】 ○教育課題の解決に向けた調査研究業務の委託 ○研修会の開催		【所 見】： 様々な教育課題解決には保幼小中学校等の連携がますます重要となっており、今後も課題解決に向け事業を継続していく必要がある。	

【事業】	【所 管】	【評価結果】：A 達成できている
6 特別支援教育等推進事業	教育委員会教育課 学校教育係	【今後の方向性】：2 現状維持
【取 組】		【所 見】： 特別な支援を必要としている児童・生徒数が増加している中、個々のニーズを的確に把握することにより、適切な指導と必要な支援を総合的に推進している。対象者数に見合う支援員等の配置に努めており、学校からの評価も高い。
○学校教育支援員、特別支援学級支援員、特別支援教育等支援員、学校支援員、SSWの配置		
【事業】	【所 管】	【評価結果】：B 概ね達成できている
7 小学校教育情報化推進事業	教育委員会教育課 学校教育係	【今後の方向性】：2 現状維持
【取 組】		【所 見】： 国が進めるGIGAスクール構想により、タブレットやデジタル教科書等を整備・活用し、情報通信技術（ICT）を用いた学習環境を引き続き充実していく必要がある。また、タブレットの更新を計画的に進めていく必要がある。
○GIGAスクール構想に必要なICT機器等の整備と運営管理 ○教職員向けの研修と学習教材・情報教育機器等の整備		
【事業】	【所 管】	【評価結果】：B 概ね達成できている
8 小学校感性情操教育推進事業	教育委員会教育課 学校教育係	【今後の方向性】：2 現状維持
【取 組】		【所 見】： 3校合同の演劇教室と音楽鑑賞教室を行うなど効果的な事業執行を行っている。児童の感性・情操を豊かにするためには長い時間をかけて育成しなければならないことから、今後は、新たな事業運営方法を取り入れ、より充実した事業の推進に努める必要がある。
○小学校における芸術文化体験事業の実施		
【事業】	【所 管】	【評価結果】：B 概ね達成できている
9 中学校教育情報化推進事業	教育委員会教育課 学校教育係	【今後の方向性】：2 現状維持
【取 組】		【所 見】： 国が進めるGIGAスクール構想により、タブレットやデジタル教科書等を整備・活用し、情報通信技術（ICT）を用いた学習環境を引き続き充実していく必要がある。また、タブレットの更新を計画的に進めていく必要がある。
○GIGAスクール構想に必要なICT機器等の整備と運営管理 ○教職員向けの研修と学習教材・情報教育機器等の整備		
【事業】	【所 管】	【評価結果】：B 概ね達成できている
10 中学校通学バス支援事業	教育委員会教育課 学校教育係	【今後の方向性】：2 現状維持
【取 組】		【所 見】： 保護者で組織する冬季通学バス運行委員会の通学バスは、自転車通学生徒の冬季間の安全確保のためには効果的な事業である。運行経費が増嵩している中、これまで保護者負担を据え置いてきたが、令和5年度以降の費用増加分については、保護者と町の負担が同率程度となるよう保護者負担を求めることとしている。運行委員会及び学校側と協議し、理解を求めながら支援を継続していく必要がある。
○三川中学校冬季通学バス運行委員会が運行する通学バスの運行費用に対する助成		
【事業】	【所 管】	【評価結果】：B 概ね達成できている
11 学力向上対策事業	教育委員会教育課 学校教育係	【今後の方向性】：2 現状維持
【取 組】		【所 見】： 学力向上を図るため令和2年度から中学生を対象にオンラインによる学習教材の提供を行っており、令和3年度からは小学校高学年にも拡大した。個人のペースでかつ家庭でも取り組みができることから、今後も継続した活用を図っていく必要がある。 また、令和4年度より実施している英検受験料の一部補助についても、中学校生徒の英語力及び学習意欲の向上を図るため、継続していく必要がある。
○オンラインサービスによる学習教材の充実 ○中学生への英検受験料の補助		

【事業】	【所 管】	【評価結果】： B 概ね達成できている
12 中学校感性情操教育推進事業	教育委員会教育課 学校教育係	【今後の方向性】： 2 現状維持
【取 組】		【所 見】： 令和5年度は計画通りに音楽鑑賞教室と芸術鑑賞教室を開催することができた。生徒の感性・情操を豊かにするためには長い時間をかけなければならないことから、今後も事業を継続していく必要がある。
○中学校における芸術文化体験事業の実施		
【事業】	【所 管】	【評価結果】： B 概ね達成できている
13 教育施設整備基金造成事業	教育委員会教育課 学校教育係	【今後の方向性】： 3 一層の拡充が必要
【取 組】		【所 見】： 町の一般財源負担を軽減しながら教育施設整備事業を円滑に推進するため、造成事業を行っている。今後の教育施設整備の状況に合わせ基金の造成を行っていく必要がある。
○教育施設整備基金の造成・運用 ○教育施設整備事業への活用		
【事業】	【所 管】	【評価結果】： B 概ね達成できている
14 中学校施設等整備事業	教育委員会教育課 学校教育係	【今後の方向性】： 2 現状維持
【取 組】		【所 見】： 熱中症対策の一環として必要な特別教室への空調設備設置について、これからも有利な財源を確保しながら計画的に進めていく。
○中学校理科室（2室）への空調設置		
【事業】	【所 管】	【評価結果】：
		【今後の方向性】：
【取 組】		【所 見】：
【事業】	【所 管】	【評価結果】：
		【今後の方向性】：
【取 組】		【所 見】：
【事業】	【所 管】	【評価結果】：
		【今後の方向性】：
【取 組】		【所 見】：

令和５年度 施策評価調査書

基本目標 (政策) ※第4次	41 子育てしやすいまちづくりの推進		
施 策 ※第4次	04 子育て支援		
内 容	【現 状】 少子化が進むなか、子育てしやすい環境をつくることが求められ、就学前乳幼児及び小中学校の児童・生徒の健やかな成長と子育て支援を行うにあたり公平かつ適正な制度運用を図っていく必要がある。 医療給付については、令和５年７月から対象年齢を１８歳まで拡大したことから、保護者にとって医療費の自己負担に対する助成という側面からの子育て支援は、一定の役割を果たしていると思われる。 【課 題】 子育て支援として、子育て先輩ママから新米ママへの子育て情報の提供やアドバイス、子育てサークル活動への支援も視野に入れた事業の実施が求められる。		
【外部評価結果】 ① 概ね良好 ② 一層の拡充が必要 ③ 縮小の方向で検討すべき ④ 一部改善が必要		【所 見】 子育て交流施設テオトルは、町内外問わず子育て世代の方々の交流の場となっており、個人・団体問わず利用者が多い。 団体で利用する際については、利用料の徴収も検討してはどうか。	
【事 業】 15 子育て支援センター事業	【所 管】 子育て支援室子ども支援係	【評価結果】： A 達成できている 【今後の方向性】： 2 現状維持 【所 見】： 親子の交流の場の提供や子育てサークル支援、子育て相談、未就園児の一時預かり等、子育て支援の拠点となる様々な事業を実施しており、町内外多くの子育て世代の方からの利用があった。今後も事業を継続し、実施していく必要がある。	
【取 組】 ○遊び・交流の場の提供 ○育児不安等に対する相談指導 ○子育て情報の提供 ○一時預かりの実施			
【事 業】 16 出産祝金事業	【所 管】 子育て支援室家庭支援係	【評価結果】： A 達成できている 【今後の方向性】： 2 現状維持 【所 見】： 子育てにかかる経済的支援は子育て世代の関心も高く、対象要件を満たした方全員に支給決定されている。経済的負担軽減のため、今後も事業継続が必要である。	
【取 組】 ○出産祝金の支給			
【事 業】 17 子育て支援医療給付事業	【所 管】 町民課国保係	【評価結果】： A 達成できている 【今後の方向性】： 2 現状維持 【所 見】： 子育て支援医療給付事業による医療費の一部負担金の全額助成は、子育て支援における重要な事業であり、その成果が得られている。また、養育医療は子育て支援医療給付事業と併用することで、医療費の負担の軽減が図られている。 子育て支援医療給付事業については、令和５年７月から対象年齢を１８歳まで拡大した。	
【取 組】 ○０歳から１８歳までの児童に係る医療費の一部負担金の全額助成 ○出生体重が２０００g以下、または身体の発育が未熟のまま出生した０歳児への入院医療費の公費助成			

【事業】 18 学童保育支援事業	【所管】 子育て支援室子ども支援係	【評価結果】 ： B 概ね達成できている 【今後の方向性】 ： 3 一層の拡充が必要 【所見】 ：
【取組】 ○学童保育所運営事業者に対する補助 ○利用料補助による保護者負担の軽減 ○学童保育の活動場所の提供、施設の維持管理 ○民間事業者の施設整備に対する補助金の交付		安定した学童保育所の運営体制と施設設備面の環境は整えられている。年々利用希望人数が増加していることが課題となっており、令和5年度は、新規に押切小学校での開所と7月にこどもの居場所を開所し対応したところである。今後も民間事業者と協議・調整し、支援していく必要がある。
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ： 【所見】 ：
【取組】		
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ： 【所見】 ：
【取組】		
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ： 【所見】 ：
【取組】		
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ： 【所見】 ：
【取組】		
【事業】	【所管】	【評価結果】 ： 【今後の方向性】 ： 【所見】 ：
【取組】		

令和５年度 施策評価調査書

基本目標 (政策) ※第4次	41 子育てしやすいまちづくりの推進		
施 策 ※第4次	05 青少年健全育成		
内 容	【現 状】 少子化、高齢化、核家族化が進み、青少年の地域との関りが希薄化してきている。自然体験、生活体験の場が不足しているため、地域の力を活用し、子どもの生きる力を育む必要がある。 【課 題】 地域にいる人材を活用しながら、地域活動・体験活動を行い、たくましく豊かな心と広い視野、生きる力を養うための環境づくりが必要である。		
【外部評価結果】 1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		【所 見】 ざっこしめやアトク寺子屋などの夏期実施事業については、昨今の猛暑による熱中症予防等の観点から、開催時期、開催場所などについて検討・精査し、具体的且つ早急な改善を検討する必要がある。	
【事 業】 19 放課後子ども教室推進事業	【所 管】 教育委員会教育課社会教育係	【評価結果】： B 概ね達成できている 【今後の方向性】： 2 現状維持 【所 見】：	
【取 組】 ○小学校施設の地域開放 ○地域住民と連携した子どもの居場所づくりの推進 ○自然体験学習等の開催「ざっこしめ」 ○体験教室「わくわく体験塾」 ○地域にいる講師と連携した「アトク寺子屋教室」		地域にいる人材の活用及び様々な体験活動や異年齢交流を通じ、子どもの「生きる力」を育成することを目的に事業を実施した。今後も効果的な事業を企画していく必要がある。	
【事 業】	【所 管】	【評価結果】： 【今後の方向性】： 【所 見】：	
【取 組】			
【事 業】	【所 管】	【評価結果】： 【今後の方向性】： 【所 見】：	
【取 組】			

令和５年度 施策評価調査書

基本目標 (政策) ※第4次	42 生涯学ぶことができる地域社会の実現		
施 策 ※第4次	01 社会教育		
内 容	【現 状】 生涯学習活動を通じて、それぞれの年代毎に事業を実施し、自主活動に結びつけることを目的としている。団体活動については、コロナウイルスの影響による活動制限がなくなっていることから活動が活発化するよう支援している。 【課 題】 事業については、マンネリ化しないよう町民のニーズを的確に把握し、講座の開催や事業展開に繋げていく必要がある。		
【外部評価結果】 1 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要	【所 見】 各事業が適切に執行されており、今後も引き続き事業を継続していただきたい。		
【事 業】 20 社会教育団体等活動推進事業	【所 管】 教育委員会教育課社会教育係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所 見】 : コロナによる活動制限がなくなっていることから、今後は社会教育関連団体の活性化を図るため活動支援を継続していく必要がある。中高校生ボランティアサークル「来夢来人」の登録者数が増加し、地域活動への関心が高まっている。	
【取 組】 ○芸術文化協会に対する活動支援 ○PTA連合会、ボランティアサークル来夢来人、発明クラブ、青年サークル青友等に対する活動支援			
【事 業】 21 二十歳のつどい開催事業	【所 管】 教育委員会教育課社会教育係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所 見】 : 成人年齢の引き下げに伴い、名称を「成人式」から「二十歳のつどい」に変更し開催している。実行委員会方式で会を運営しながら青年層の集う場を提供し、郷土愛の醸成を図る必要がある。	
【取 組】 ○二十歳のつどい式典の開催 ○交流会の開催に対する支援			
【事 業】 22 生涯学習活動実践事業	【所 管】 教育委員会教育課社会教育係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所 見】 : 町民講座受講者アンケートを参考に、町民のニーズに合わせた講座開催に努めた。今後も自主活動を支援し、生涯に渡る学習機会の充実、知識や技術を活かす場の提供を図る必要がある。	
【取 組】 ○町民講座の開催 ○家庭教育連携事業の実施 ○みかわ秋まつりの開催 ○菜の花大学（高齢者教育）の開催			

【事業】 23 町内会公民館等整備事業	【所管】 教育委員会教育課社会教育係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所見】 : 自治振興委員会議で事業周知しながら要望を取りまとめ、各町内会公民館等の状況を把握し執行している。今後も長期的な地域公民館の維持管理の観点から、継続して事業を行っていく必要がある。
【取組】 ○町内会公民館等整備補助金の交付		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : 【今後の方向性】 : 【所見】 :
【取組】		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : 【今後の方向性】 : 【所見】 :
【取組】		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : 【今後の方向性】 : 【所見】 :
【取組】		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : 【今後の方向性】 : 【所見】 :
【取組】		
【事業】	【所管】	【評価結果】 : 【今後の方向性】 : 【所見】 :
【取組】		

令和5年度 施策評価調査

基本目標 (政策) ※第4次	42 生涯学ぶことができる地域社会の実現								
施 策 ※第4次	02 スポーツ振興								
内 容	【現 状】 関係団体を育成支援し、スポーツを楽しむ環境を作り、町民及び会員等の体力・運動能力の維持向上を図ることを目的に取り組んでいるが、スポーツと健康との関りで、ウォーキングなど軽スポーツを楽しむ機会の創出が求められる。 【課 題】 スポーツ協会については、コロナウイルスの影響により構成団体主催の大会等で停滞化が課題となっている。スポーツ少年団については、コロナ禍前の団員数に戻りつつあるものの、競技種目への偏りが見られる。スポーツクラブについては、会員を増やすための魅力ある事業やイベントが必要となっている。休日の部活動の地域移行については、町外の民間クラブチームへの流失や少子化による部員数の減少が今後も続くことが想定されるため、各クラブの実態を把握しながら活動が継続できるよう環境整備を図る必要がある。全体的にコロナ禍において停滞していたスポーツ活動が再開され、時代に合った活動の活性化に向けて取り組む必要がある。								
【外部評価結果】 ① 概ね良好 ② 一層の拡充が必要 ③ 縮小の方向で検討すべき ④ 一部改善が必要		【所 見】 町民運動会について、町民の参加意欲に繋がるような内容の見直しや、午前のみ開催としたことによる参加のし易さの向上は一定程度効果があったと認識している。一方で、天候不良時の対応など、今後の改善余地が見られることから、今後も検討を重ねて欲しい。							
【事 業】 24 社会体育団体等活動推進事業	【所 管】 教育委員会教育課 社会教育係	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="762 1032 981 1077">【評価結果】：</td> <td data-bbox="986 1032 1479 1077">B 概ね達成できている</td> </tr> <tr> <td data-bbox="762 1084 981 1128">【今後の方向性】：</td> <td data-bbox="986 1084 1479 1128">2 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="762 1135 1479 1377"> 【所 見】： スポーツクラブについては、子どもから高齢者まで参加し楽しめる事業を展開している。令和5年度に三川町スポーツ文化振興協議会を設置し、中学校休日部活動の地域移行の円滑な推進に努めている。 今後も各スポーツ団体を支援し、各年代におけるスポーツ活動の活性化に向けて、支援を継続していく必要がある。 </td> </tr> </table>		【評価結果】：	B 概ね達成できている	【今後の方向性】：	2 現状維持	【所 見】： スポーツクラブについては、子どもから高齢者まで参加し楽しめる事業を展開している。令和5年度に三川町スポーツ文化振興協議会を設置し、中学校休日部活動の地域移行の円滑な推進に努めている。 今後も各スポーツ団体を支援し、各年代におけるスポーツ活動の活性化に向けて、支援を継続していく必要がある。	
【評価結果】：	B 概ね達成できている								
【今後の方向性】：	2 現状維持								
【所 見】： スポーツクラブについては、子どもから高齢者まで参加し楽しめる事業を展開している。令和5年度に三川町スポーツ文化振興協議会を設置し、中学校休日部活動の地域移行の円滑な推進に努めている。 今後も各スポーツ団体を支援し、各年代におけるスポーツ活動の活性化に向けて、支援を継続していく必要がある。									
【取 組】 ○スポーツ協会、スポーツ少年団、みかわスポーツクラブ、三川町スポーツ文化振興協議会に対する活動支援									
【事 業】 25 生涯スポーツ推進事業	【所 管】 教育委員会教育課 社会教育係	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="762 1384 981 1429">【評価結果】：</td> <td data-bbox="986 1384 1479 1429">B 概ね達成できている</td> </tr> <tr> <td data-bbox="762 1435 981 1480">【今後の方向性】：</td> <td data-bbox="986 1435 1479 1480">2 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="762 1487 1479 1729"> 【所 見】： みかわスポフェスは、チラシの全戸配布等により町民へ広く周知し、多くの参加があった。今後も町民から楽しんで参加してもらえるスポーツイベントを企画していく必要がある。 また、資格取得助成について情報提供を行い、指導者の負担軽減・確保を図る必要がある。 </td> </tr> </table>		【評価結果】：	B 概ね達成できている	【今後の方向性】：	2 現状維持	【所 見】： みかわスポフェスは、チラシの全戸配布等により町民へ広く周知し、多くの参加があった。今後も町民から楽しんで参加してもらえるスポーツイベントを企画していく必要がある。 また、資格取得助成について情報提供を行い、指導者の負担軽減・確保を図る必要がある。	
【評価結果】：	B 概ね達成できている								
【今後の方向性】：	2 現状維持								
【所 見】： みかわスポフェスは、チラシの全戸配布等により町民へ広く周知し、多くの参加があった。今後も町民から楽しんで参加してもらえるスポーツイベントを企画していく必要がある。 また、資格取得助成について情報提供を行い、指導者の負担軽減・確保を図る必要がある。									
【取 組】 ○町民運動会、みかわスポフェスの開催 ○指導者等に対する資格取得助成 ○東北大会、全国大会参加助成									
【事 業】	【所 管】	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="762 1736 981 1780">【評価結果】：</td> <td></td> </tr> <tr> <td data-bbox="762 1787 981 1832">【今後の方向性】：</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="762 1839 1479 1874"> 【所 見】： </td> </tr> </table>		【評価結果】：		【今後の方向性】：		【所 見】：	
【評価結果】：									
【今後の方向性】：									
【所 見】：									
【取 組】									

令和５年度 施策評価調査

基本目標 (政策) ※第4次	42 生涯学ぶことができる地域社会の実現		
施 策 ※第4次	03 芸術文化振興		
内 容	【現 状】 文化財保護については、毎年各地区を巡回して点検を行い、貴重な文化財の保護保存に努めている。文化交流館事業については、「アトクすまいるライブ」「春の野草を観る会」「ひな展示」等の特徴的なイベントを開催し、文化交流館を介して多くの町民が芸術文化に触れる機会を設けている。 【課 題】 コロナ禍後の芸術文化振興を図るため、芸術に触れる機会の提供をしつつ、文化交流館等、特徴ある施設の有効活用を継続していく必要がある。		
【外部評価結果】 ① 概ね良好 ② 一層の拡充が必要 ③ 縮小の方向で検討すべき ④ 一部改善が必要		【所 見】 文化交流館については、様々な事業を実施しており、町民にとっての芸術文化振興の拠点施設として活用されている。 今後は、町の貴重な観光資源ともなり得ることから、施設自体の周知や案内看板設置等による町内外からの誘導策にも注力すべきである。 また、老朽化も見られることから、計画的な改修・修繕を行っていく必要がある。	
【事 業】 26 文化財保護保存事業	【所 管】 教育委員会教育課社会教育係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所 見】 : 文化財保護については、地区ごとに巡回点検し、保存状況の確認等を行いながら保全に努めている。今後も貴重な文化財の保護保存に努めながら事業を継続していく必要がある。	
【取 組】 ○文化財等の保護・保存 ○文化財保護審議会委員研修（隔年開催）			
【事 業】 27 文化交流館事業	【所 管】 教育委員会教育課社会教育係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所 見】 : 特色ある文化交流館の利用を促進することから「アトクすまいるライブ」を開催し好評を得ている、令和５年度は、コロナ禍同様入場制限を設け開催したが、今後はコロナ前と同様の事業方式に戻していくこととしている。 今後も施設の魅力を存分に発揮した事業実施に努め、施設の利用拡大を図る。	
【取 組】 ○野草を観る会の開催 ○雛人形展の開催 ○アトクすまいるライブの開催 ほか			
【事 業】	【所 管】	【評価結果】 : 【今後の方向性】 : 【所 見】 :	
【取 組】			

令和５年度 施策評価調書

基本目標 (政策) ※第4次	43 誰もが健康で幸せに過ごせる共生社会の実現		
施 策 ※第4次	01 地域福祉		
内 容	【現 状】 高齢化率の増加とともに、一人暮らし高齢者や高齢者世帯が増加する中、高齢者が健康で自立した生活を送れるようサービス提供を行っている。 【課 題】 高齢者が住みなれた地域で健康で安心した生活を送るためには、家庭・地域・関係機関団体及び行政が連携して行う必要がある。 地域包括支援センターや民生委員等との連携により対象者の把握に努めながら、高齢者に対する細やかな生活支援を推進していく必要がある。		
【外部評価結果】 1 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		【所 見】 民生委員との協力や広報等を活用し、引き続き必要な情報が必要な方に届くよう取り組んでいただきたい。	
【事 業】 28 社会福祉法人等支援事業（社会福祉総務費）	【所 管】 健康福祉課福祉係	【評価結果】： A 達成できている 【今後の方向性】： 2 現状維持 【所 見】：	
【取 組】 ○社会福祉法人、社会福祉団体の活動に対する補助		団体の設立目的に沿った活動がなされており、地域福祉の推進に不可欠な団体の安定運営のために、今後も支援を継続する必要がある。	
【事 業】 29 生活支援事業	【所 管】 健康福祉課福祉係	【評価結果】： B 概ね達成できている 【今後の方向性】： 2 現状維持 【所 見】：	
【取 組】 ○寝具洗濯乾燥等事業費の助成 ○緊急通報システム事業費の助成		今後も支援の継続と併せて、町広報の活用、民生児童委員による周知等により利用促進を図っていく必要がある。	
【事 業】	【所 管】	【評価結果】： 【今後の方向性】： 【所 見】：	
【取 組】			

令和５年度 施策評価調査書

基本目標 (政策) ※第4次	43 誰もが健康で幸せに過ごせる共生社会の実現								
施 策 ※第4次	02 高齢者福祉								
内 容	【現 状】 高齢化率の増加とともに、一人暮らし高齢者や高齢者世帯も増加する中、高齢者が自らの健康の保持増進に積極的に取り組み、自立した生活を送れるような生きがいがいづくりに取り組んでいる。 【課 題】 高齢者が孤立することなく、住み慣れた地域の中で生きがいをもって安心して暮らすことができるよう地域・関係機関団体・行政が連携しながら事業推進していく必要がある。 寿賀のつどいへの参加は目標の4割を維持できている一方で、年々老人クラブへの加入率が低下していることが懸念される。								
【外部評価結果】 ① 概ね良好 ② 一層の拡充が必要 ③ 縮小の方向で検討すべき ④ 一部改善が必要		【所 見】 高齢者の困りごとに対して、まずは、地域で情報を共有することが大切である。引き続き共助の取り組みに対する支援をお願いしたい。							
【事 業】 30 在宅介護支援事業	【所 管】 健康福祉課介護支援係	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="767 1032 1050 1077">【評価結果】：</td> <td data-bbox="1058 1032 1479 1077">B 概ね達成できている</td> </tr> <tr> <td data-bbox="767 1088 1050 1133">【今後の方向性】：</td> <td data-bbox="1058 1088 1479 1133">2 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="767 1144 1479 1373"> 【所 見】： 在宅で介護している方は、精神的・経済的な負担が大きいことから、今後も継続した負担軽減の支援が必要である。 </td> </tr> </table>		【評価結果】：	B 概ね達成できている	【今後の方向性】：	2 現状維持	【所 見】： 在宅で介護している方は、精神的・経済的な負担が大きいことから、今後も継続した負担軽減の支援が必要である。	
【評価結果】：	B 概ね達成できている								
【今後の方向性】：	2 現状維持								
【所 見】： 在宅で介護している方は、精神的・経済的な負担が大きいことから、今後も継続した負担軽減の支援が必要である。									
【取 組】 ○介護人手当の支給 ○通院等支援サービスの実施									
【事 業】 31 寿賀敬老事業	【所 管】 健康福祉課福祉係	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="767 1384 1050 1429">【評価結果】：</td> <td data-bbox="1058 1384 1479 1429">A 達成できている</td> </tr> <tr> <td data-bbox="767 1440 1050 1485">【今後の方向性】：</td> <td data-bbox="1058 1440 1479 1485">2 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="767 1496 1479 1724"> 【所 見】： 長年にわたり地域社会の発展に貢献された高齢者の労をねぎらうためにも、長寿祝金等については継続して実施する必要がある。 </td> </tr> </table>		【評価結果】：	A 達成できている	【今後の方向性】：	2 現状維持	【所 見】： 長年にわたり地域社会の発展に貢献された高齢者の労をねぎらうためにも、長寿祝金等については継続して実施する必要がある。	
【評価結果】：	A 達成できている								
【今後の方向性】：	2 現状維持								
【所 見】： 長年にわたり地域社会の発展に貢献された高齢者の労をねぎらうためにも、長寿祝金等については継続して実施する必要がある。									
【取 組】 ○長寿祝金等の贈呈 ○最高齢者、歳祝該当者、金婚者に対する賀詞・祝品等の贈呈									
【事 業】 32 高齢者地域活動支援事業	【所 管】 健康福祉課福祉係	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="767 1736 1050 1780">【評価結果】：</td> <td data-bbox="1058 1736 1479 1780">B 概ね達成できている</td> </tr> <tr> <td data-bbox="767 1792 1050 1836">【今後の方向性】：</td> <td data-bbox="1058 1792 1479 1836">2 現状維持</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="767 1848 1479 2076"> 【所 見】： 老人クラブ連合会及び単位老人クラブの会員数は減少しているものの、高齢者の相互交流や生きがいがいづくりの場として引き続き支援が必要である。 </td> </tr> </table>		【評価結果】：	B 概ね達成できている	【今後の方向性】：	2 現状維持	【所 見】： 老人クラブ連合会及び単位老人クラブの会員数は減少しているものの、高齢者の相互交流や生きがいがいづくりの場として引き続き支援が必要である。	
【評価結果】：	B 概ね達成できている								
【今後の方向性】：	2 現状維持								
【所 見】： 老人クラブ連合会及び単位老人クラブの会員数は減少しているものの、高齢者の相互交流や生きがいがいづくりの場として引き続き支援が必要である。									
【取 組】 ○老人クラブ活動の支援									

【事業】 33 高年齢者就業機会確保事業	【所管】 健康福祉課福祉係	【評価結果】： A 達成できている
		【今後の方向性】： 2 現状維持
		【所見】： 高年齢者の経験や技術を活かした就業機会を確保する機関の安定運営のため、今後も継続した支援が必要である。
【取組】 ○シルバー人材センターに対する支援		
【事業】	【所管】	【評価結果】：
		【今後の方向性】：
		【所見】：
【取組】		
【事業】	【所管】	【評価結果】：
		【今後の方向性】：
		【所見】：
【取組】		
【事業】	【所管】	【評価結果】：
		【今後の方向性】：
		【所見】：
【取組】		
【事業】	【所管】	【評価結果】：
		【今後の方向性】：
		【所見】：
【取組】		
【事業】	【所管】	【評価結果】：
		【今後の方向性】：
		【所見】：
【取組】		

令和５年度 施策評価調査書

基本目標 (政策) ※第4次	43 誰もが健康で幸せに過ごせる共生社会の実現		
施 策 ※第4次	03 障害者福祉		
内 容	【現 状】 現代社会において、ノーマライゼーションの理念は浸透しつつあるものの、道路、建物等における物理的障壁のみならず、資格制限等制度や意識面での障壁など、さまざまな障壁があるのが現実である。 障害者総合支援法による障害福祉サービス及び町独自の障害者施策によるサービスの提供を行っているところである。 【課 題】 ノーマライゼーションの理念を浸透するべく、日ごろからの啓発活動に努め、制度の周知や相談支援の充実に努める必要がある。 障害者あるいは、その家族が抱える課題をもとに適切な障害者福祉サービスの提供が求められる。		
【外部評価結果】 1 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要	【所 見】 発達障害者に関する支援や理解に関する働きかけと社会参画ができるような施策が必要と思われる。 また、障害全般に関する支援の情報を、町民に対してどう発信していくかが課題である。		
【事 業】 34 障害者在宅生活等支援事業	【所 管】 健康福祉課福祉係	【評価結果】 : A 達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所 見】 : 事業対象者は、恒常的に介護が必要な障害者やその家族であり、その精神的・経済的な負担は大きいことから、今後も継続した負担軽減の支援が必要である。	
【取 組】 ○介護人手当の支給 ○障害者に対するおむつの支給 ○重度身体障害者（児）自動車用燃料費助成 他			
【事 業】 35 社会福祉法人等支援事業（障害者福祉費）	【所 管】 健康福祉課福祉係	【評価結果】 : A 達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所 見】 : 障害者相互の交流、社会参加の促進を目的に支援しており、団体を所管する社会福祉協議会と連携して支援の継続を図る必要がある。	
【取 組】 ○三川町身体障害者福祉協会の活動に対する支援			
【事 業】 	【所 管】 	【評価結果】 : 【今後の方向性】 : 【所 見】 :	
【取 組】 			

令和５年度 施策評価調書

基本目標 (政策) ※第4次	43 誰もが健康で幸せに過ごせる共生社会の実現		
施 策 ※第4次	04 健康づくり		
内 容	【現 状】 町民の健康の保持増進を図るための生活習慣病対策や心の健康づくり等への取り組みを行っている。また、各種検診の受診率向上や、健康教室等の参加者増に向けて、住民の理解を得ながら、今後とも各種機関・団体等と連携しながら健康づくりに取り組む必要がある。 【課 題】 国の方針で、平成21年より特定年齢に対する検診費用の無料化が進められていることから、一層の受診率向上に努めなければならない。また、各種教室（健康教育）や健康相談においては、内容の工夫とともに、住民がより参加しやすい方法を模索していく必要がある。		
【外部評価結果】 1 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		【所 見】 マイチャレポイント事業は、町民に喜ばれている事業であり、また、健康増進にもつながっている。引き続き、事業を推進してもらいたい。	
【事 業】 36 健康増進事業	【所 管】 健康福祉課健康係	【評価結果】： B 概ね達成できている 【今後の方向性】： 2 現状維持 【所 見】： がん検診の受診率向上及び精密検査の対象者全員受診にむけて継続して受診勧奨を行っている。また、マイチャレ事業や体組成計の活用により、町民の健康づくりへの意識が健康づくり自主活動の継続につながっている。	
【取 組】 ○健康診断及び各種がん検診の実施 ○健康づくり相談・訪問指導等の実施 ○病態別健康教室の実施 ○健康マイレージチャレンジの実施		【評価結果】： 【今後の方向性】： 【所 見】：	
【事 業】	【所 管】	【評価結果】： 【今後の方向性】： 【所 見】：	
【取 組】			
【事 業】	【所 管】	【評価結果】： 【今後の方向性】： 【所 見】：	
【取 組】			

令和５年度 施策評価調査

基本目標 (政策) ※第4次	44 安全で安心して暮らせる強靱なまちの実現		
施 策 ※第4次	01 防災・危機管理		
内 容	【現 状】 東日本大震災を契機に、地震や津波に対する災害に対する住民の意識が高まるなか、地域防災計画を見直し、津波・洪水ハザードマップを作成するなど、防災意識の高揚に努めている。 【課 題】 地域防災計画については、必要に応じて改定・見直しを行っていく必要がある。また、地域防災計画等に基づき、地域防災力の向上を図る必要がある。		
【外部評価結果】 1. 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		【所 見】 災害時における役場の役割には限界があるため、住民の「自助・共助」の意識醸成を強く行うべきである。 長期避難時のマニュアル等の作成及び町内会への配布を役場が行い、町内会からの意見を集約し、今後の大規模災害へ備えるべきである。	
【事 業】 37 自主防災組織育成助成事業	【所 管】 総務課危機管理係	【評価結果】： B 概ね達成できている 【今後の方向性】： 2 現状維持 【所 見】： 大規模災害発生時は個人（自助）に加え、地域の防災力（共助）が特に重要となってくることから、地域の防災力の向上を図るため、支援を継続する必要がある。 また、防災士養成講座受講助成については、令和５年度の受講者はいなかったものの、地域防災力の強化のために継続して受講助成を図っていく必要がある。	
【取 組】 ○災害訓練実践町内会助成金の交付 ○訓練の充実に向けた訓練計画段階からの町内会への支援 ○転入世帯への非常用持出袋の配布			
【事 業】 38 地域防災事業	【所 管】 総務課危機管理係	【評価結果】： B 概ね達成できている 【今後の方向性】： 2 現状維持 【所 見】： 備蓄品に関しては、概ね計画どおりに資材の備蓄が進められているところである。引き続き優先順位をつけながら、備蓄品の充実を図る必要がある。	
【取 組】 ○災害対応資機材の整備 ○町民への防災に関する情報の提供			
【事 業】 39 公共施設等長寿命化対策事業	【所 管】 教育委員会教育課 学校教育係・社会教育係	【評価結果】： A 達成できている 【今後の方向性】： 2 現状維持 【所 見】： 東郷小学校のプール等改修工事、アスレなの花大規模改修工事を実施しており、引き続き各種教育施設の適正な維持管理に努める必要がある。	
【取 組】 ○アスレなの花大規模改修工事 ○東郷小学校のプール改修工事			

令和５年度 施策評価調査書

基本目標 (政策) ※第4次	44 安全で安心して暮らせる強靱なまちの実現		
施 策 ※第4次	02 消防・救急・医療		
内 容	【現 状】 鶴岡市との協定に基づき、常備消防業務（事務）を委託している。 【課 題】 常備消防・救急業務は、町民の生命・財産を守る根幹であり、当該業務委託を継続する必要がある。		
【外部評価結果】 1 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要	【所 見】 消防団について、団員の確保に強力に取り組むべきである。 他市町村では、機能別団員による団員確保の取り組みもある。協力員の機能別団員への格上げも検討すべきではないかと思う。		
【事 業】 40 常備消防事務委託事業	【所 管】 総務課危機管理係	【評価結果】 : A 達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所 見】 : 常備消防・救急業務は、町民の生命及び財産を守るために必要不可欠であり、今後も継続していく必要がある。	
【取 組】 ○常備消防事務の鶴岡市への委託			
【事 業】 41 消防ポンプ整備事業	【所 管】 総務課危機管理係	【評価結果】 : A 達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所 見】 : 消防ポンプ整備計画に基づき、年次的に整備を行っており、今後も継続していく必要がある。	
【取 組】 ○消防車両及び消防ポンプの整備・更新			
【事 業】	【所 管】	【評価結果】 : 【今後の方向性】 : 【所 見】 :	
【取 組】			

令和５年度 施策評価調査書

基本目標 (政策) ※第4次	44 安全で安心して暮らせる強靱なまちの実現		
施 策 ※第4次	03 防犯		
内 容	【現 状】 近年の犯罪は、凶悪化、巧妙化、広域化しており、町民生活にとって大きな脅威となっている。さらに、本町には大型ショッピングセンターがあり、交流人口が多いことから、街頭犯罪の防止を図るため、事業所や防犯協会、家庭、学校、町内会などと連携して、規範意識の確立や防犯意識の醸成、防犯施設の整備などを通して、地域における防犯活動を強化している。 【課 題】 防犯灯のLED化などによる消費電力と維持管理経費の縮減について検討する必要がある。 また、本町には大型商業施設があり、交流人口が多いことから、引き続き各種防災関係機関・団体・企業等と連携を図りながら、犯罪抑止に努めていく必要がある。		
【外部評価結果】 1 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		【所 見】 取り組みを今後も継続してもらいたい。	
【事 業】 42 安全で明るい町づくり推進整備事業	【所 管】 総務課危機管理係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持	
【取 組】 ○防犯灯の設置・修繕 ○防犯灯のLED化の促進		【所 見】 : 町内会における防犯灯の整備に関しては、LED化支援制度によりLED化率の向上が図られており、引き続き支援していく必要がある。	
【事 業】	【所 管】	【評価結果】 : 【今後の方向性】 : 【所 見】 :	
【取 組】			
【事 業】	【所 管】	【評価結果】 : 【今後の方向性】 : 【所 見】 :	
【取 組】			

令和５年度 施策評価調査

基本目標 (政策) ※第4次	45 活力に満ちた産業の育成と雇用の創出		
施 策 ※第4次	01 農業振興		
内 容	【現 状】 米を主要農産物としている本町の農業は、米価の低迷等厳しい現状におかれており、農業者にとっては相対的な生産費が増加し、かつ国の大幅な政策変更もあって、今後の経営計画における将来ビジョンを描きにくい状況におかれている。 そういった中で、農業の生産性向上のため、各種事業を有効に活用しながら、農業経営に要する費用負担軽減を支援し、総合的な農業生産基盤を整備し、農業経営の安定に取り組んでいる状況である。 【課 題】 認定農業者をはじめ、農業経営者の高齢化、担い手不足などにより、農地の保全や多面的機能の発揮が求められている。 農作物は気象条件と市場性に左右されるものであり、収入の基幹をなす米価も年々低下するなど厳しい経営環境にある。 今後は集落における農地集積や担い手確保のための方向性を協議し、継続可能な農業農村の経営方針を明らかにしていく必要がある。		
【外部評価結果】 1 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要	【所 見】 更なる農業者の生産性や品質の向上に繋げていくため、農業支援の補助内容を見直し、広く活用できるように検討してもらいたい。		
【事 業】 43 食のまちづくり推進事業	【所 管】 産業振興課農政係	【評価結果】： A 達成できている 【今後の方向性】： 3 一層の拡充が必要 【所 見】：	
【取 組】 ○小・中学校の交流給食、地産地消に対する支援 ○三川産米を活用したPR活動		地産地消を推進するため、学校と連携して可能な限り給食への地元食材の提供を行うとともに、子供たちの食育と地域農業に対する理解を深めるために実施している交流給食について、より効果が上がる取り組みになるよう支援していく必要がある。	
【事 業】 44 新農業所得構造改革推進事業	【所 管】 産業振興課農政係	【評価結果】： B 概ね達成できている 【今後の方向性】： 3 一層の拡充が必要 【所 見】：	
【取 組】 ○土づくり支援事業 ○瑞穂の郷づくり事業 ○園芸等生産向上推進事業		農業者の高齢化や担い手不足により、農地の集積・集約化や農作業の効率化のために必要な農業用機械の導入等に対する支援を継続する必要がある。また、昨年の猛暑による米の1等米比率が大幅に減少したこともあり、農産物の品質維持の観点から土づくり支援を拡充させる必要がある。	
【事 業】 45 国営造成施設等管理体制整備促進事業	【所 管】 産業振興課農政係	【評価結果】： A 達成できている 【今後の方向性】： 2 現状維持 【所 見】：	
【取 組】 ○庄内赤川土地改良区が管理する国営及び国営附帯県造施設の維持管理費に対する支援		土地改良施設の効果は広く地域住民に及ぶことから、その機能は維持強化していく必要がある。	

【事業】	【所 管】	【評価結果】：A 達成できている
46 土地改良施設整備事業	産業振興課農政係	【今後の方向性】：2 現状維持
【取 組】		【所 見】： 二丁排水機場の排水ポンプは、すでに完成し稼働している。今後、場内整備や接続道路等の設置を行い、令和6年度内の完成に向けて施設整備を行っていく。
○尾花・沖堰排水機場改修工事 ○京田川防災減災事業に対する費用負担 ○農業水路等長寿命化・防災減災事業に対する費用負担		
【事業】	【所 管】	【評価結果】：A 達成できている
47 リーディングファーマーズ銀行事業	産業振興課農政係	【今後の方向性】：7 廃止の方向で検討すべき
【取 組】		【所 見】： 農業者が農業経営の規模拡大や効率化を行うため、金融機関の融資を受けて農業用機械等を導入する場合、借入金に対する利子補給を行ってきたが、当初の目的を達成したため、令和5年度をもって廃止の方向で検討する。ただし、令和5年度までの交付決定された対象者については、令和8年度までの利子補給を継続する。
○農業用機械導入等にかかる借入金に対する利子補給支援 (令和9年3月31日で支援終了)		
【事業】	【所 管】	【評価結果】：B 概ね達成できている
48 農用地保全活動推進事業	産業振興課農政係	【今後の方向性】：2 現状維持
【取 組】		【所 見】： 地域の農地や農業用水路等の保安全管理など農村環境を守るため、農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮に向け、今後も継続して推進していく必要がある。
○農用地や用排水路などの農業関連資源や農村環境を守る活動に対する支援		
【事業】	【所 管】	【評価結果】：B 概ね達成できている
49 環境にやさしい農業推進事業	産業振興課農政係	【今後の方向性】：2 現状維持
【取 組】		【所 見】： 環境の維持・保全への関心が高まる中、農業分野においても地球温暖化防止や生物多様性保全に積極的に貢献していくことが重要となっており、継続した支援の必要がある。
○環境負荷低減を行う農業への取り組みに対する支援		
【事業】	【所 管】	【評価結果】：B 概ね達成できている
50 地域農業担い手育成推進事業	産業振興課農政係	【今後の方向性】：2 現状維持
【取 組】		【所 見】： 認定新規就農者数は減少傾向にあるものの、認定新規就農者にならずに新規就農されている方や親から経営を継承し就農される方も出てきている。担い手の確保・育成のため、引き続き県農業技術普及課や農協等と連携して就農相談を行うとともに、就農自立までのサポートを継続していく必要がある。
○農業次世代人材投資資金の交付 ○地域計画の策定に向けた地域での話し合いへの参画		
【事業】	【所 管】	【評価結果】：
		【今後の方向性】：
【取 組】		【所 見】：

令和5年度 施策評価調査書

基本目標 (政策) ※第4次	45 活力に満ちた産業の育成と雇用の創出		
施 策 ※第4次	02 商工振興		
内 容	【現 状】 全国的には緩やかながら回復基調にあるものの、地域経済への波及は限定的で、加えて燃料費をはじめとした原材料費の高止まり傾向が続くなど、依然として町内商工業者を取り巻く環境は厳しく、見通しは不透明な状況にある。 このような中、商工業者の経営基盤の強化と地域経済活性化のための施策が求められている。 【課 題】 商工業者の経営基盤確立のため、出羽商工会による経営指導強化や円滑な資金調達のための金融対策を継続的に実施していく必要がある。 地域経済活性化のため、一層の需要（消費）拡大と新規事業開拓等に意欲的に取り組む事業者に対する支援が必要である。		
【外部評価結果】 1 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要	【所 見】 プレミアム付商品券については、町民も商工業者にとっても有効な事業であるので、取り組みを今後も継続してもらいたい。		
【事 業】 51 中小企業等振興支援事業	【所 管】 産業振興課商工観光係	【評価結果】： B 概ね達成できている 【今後の方向性】： 2 現状維持 【所 見】：	
【取 組】 ○出羽商工会の活動に対する支援 ○買い物弱者対策の推進 ○創業支援事業、経営強化支援事業 ○新型コロナウイルス感染症の影響による事業継続に係る借入に対する利子補給補助		商工業者の経営基盤強化のため、専門性を有する指導が必要であり、今後も出羽商工会への支援を継続する。令和5年度についても、国の臨時交付金を活用し、町内の中小企業等の支援事業を行った。小売店業者振興支援事業として出羽商工会が実施するプレミアム付商品券発行事業を支援し、地域経済活性化を促した。今後も、商工業振興のためニーズを把握し、安定化につながる支援策が必要である。	
【事 業】	【所 管】	【評価結果】： 【今後の方向性】： 【所 見】：	
【取 組】			
【事 業】	【所 管】	【評価結果】： 【今後の方向性】： 【所 見】：	
【取 組】			

令和５年度 施策評価調査書

基本目標 (政策) ※第4次	45 活力に満ちた産業の育成と雇用の創出		
施 策 ※第4次	03 特産品開発		
内 容	【現 状】 町の特産品が少ない。観光PRにつながるような特産品がない。 【課 題】 新商品開発や特産品のPRへの支援が必要である。		
【外部評価結果】 ① 概ね良好 ② 一層の拡充が必要 ③ 縮小の方向で検討すべき ④ 一部改善が必要		【所 見】 米イ号での商品開発だけではなく、三川産米（つや姫）の魅力をもっと全国へ向け発信していくべきであり、更なる特産品開発にも力を入れてもらいたい。	
【事 業】 52 「田から(宝)もの」逸品開発事業	【所 管】 産業振興課商工観光係	【評価結果】 : C あまり達成できていない 【今後の方向性】 : 4 一部改善が必要 【所 見】 :	
【取 組】 ○イ号を活用した特産品開発事業の業務委託 ○新商品開発支援事業や商品品質向上支援事業等に対する補助金交付		観光協会に業務委託し、イ号を活用した日本酒の企画醸造や特産品の開発を行った。イ号の米粉を使った特産品開発は、町内の事業者から協力をいただき取り組んだ。今後も三川町をPRできる商品の開発と、それに携わる人を発掘する必要がある。町の活性化のため、新たな商品開発及び特産品開発、既存商品のリニューアル等、事業者の取り組みへの支援を強化する必要がある。	
【事 業】	【所 管】	【評価結果】 : 【今後の方向性】 : 【所 見】 :	
【取 組】			
【事 業】	【所 管】	【評価結果】 : 【今後の方向性】 : 【所 見】 :	
【取 組】			

令和5年度 施策評価調査書

基本目標 (政策) ※第4次	45 活力に満ちた産業の育成と雇用の創出		
施 策 ※第4次	04 雇用対策		
内 容	【現 状】 景気低迷が続く中、中小企業労働者の生活安定が求められている。 【課 題】 中小企業労働者の生活を安定させるためのセーフティネットが必要である。		
【外部評価結果】 1 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		【所 見】 取り組みを今後も継続してもらいたい。	
【事 業】 53 勤労者福祉対策支援事業	【所 管】 産業振興課商工観光係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所 見】 :	
【取 組】 ○勤労者生活安定資金の貸付 ○日本労働者信用基金協会保証料補給金の支援		勤労者生活安定資金については、未組織勤労者等の企業等で働く勤労者にも対応するセーフティネットとして活用。今後も、制度の維持とPRに努める必要がある。	
【事 業】	【所 管】	【評価結果】 : 【今後の方向性】 : 【所 見】 :	
【取 組】			
【事 業】	【所 管】	【評価結果】 : 【今後の方向性】 : 【所 見】 :	
【取 組】			

令和５年度 施策評価調査書

基本目標 (政策) ※第4次	46 みかわブランドをいかした交流人口・関係人口の拡大		
施 策 ※第4次	01 観光振興		
内 容	【現 状】 人口減少が進むなか、いろり火の里施設における交流の拡大や町観光協会主催の観光イベント及び人的ネットワーク等の活用により、地域活性化を図っている。 【課 題】 本町の活性化及び町民所得の向上を図るには、観光振興は重要であり、みかわ振興公社や三川町観光協会を中心に、広域的な観点にたって関係機関団体が連携した取り組みを計画的、かつ持続的に実施していくことが必要である。		
【外部評価結果】 1 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		【所 見】 町で実施するイベントに関らず、町内事業者への働きかけを強化し、目玉となる新たな商品販売を実施するなどして、いろり火の里への集客に力を入れてもらいたい。	
【事 業】 54 「いろり火の里」推進事業	【所 管】 企画調整課開発係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 3 一層の拡充が必要 【所 見】 : コロナ禍による利用の落ち込みから回復基調にある。更なる集客のため指定管理者との連携を強化していきながら、施設の老朽化に計画的に対応し、魅力ある施設の整備を図る必要がある。	
【取 組】 ○「いろり火の里」施設の大規模改修と機能強化に向けた施設設備の整備改修			
【事 業】 55 観光対策事業	【所 管】 産業振興課商工観光係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 4 一部改善が必要 【所 見】 : 町のPR及び交流人口拡大に繋がる、魅力ある内容の効果的なイベントが開催できている。今後とも関係人口の繋がりを深めていく内容の検討と、関係団体との連携により、イベントの開催が町の商工業振興につながるよう、町内事業者への働きかけを強化し、「皆で盛り上げるイベント」との意識醸成を図る必要がある。	
【取 組】 ○三川町観光協会活動に対する支援 ○広域観光圏活動との連携推進			
【事 業】	【所 管】	【評価結果】 : 【今後の方向性】 : 【所 見】 :	
【取 組】			

令和５年度 施策評価調査書

基本目標 (政策) ※第4次	46 みかわブランドをいかした交流人口・関係人口の拡大		
施 策 ※第4次	02 交流		
内 容	【現 状】 少子高齢化に加え、長引く景気低迷などにより地域経済の活力が低下しているなかで、各種交流活動を通じて地域の活性化が求められている。 また、これまで国際化社会に対応できる人材育成を目指し、マクミンビル市との中学生の国際交流を継続的に行っていたが、コロナ禍等により、ホームステイ形式の交流が困難な状況にあり、関係性の希薄化が懸念されている。 【課 題】 望郷みかわ会との交流活動を通じて、人的ネットワークの活用等を図っていく必要がある。 国際感覚を養い、広い視点を持つ人材の育成を推進していく必要がある。 マクミンビル市との中学生の交流は、オンライン形式の交流を継続するなど、お互いの繋がりを深めていく必要がある。		
【外部評価結果】 ① 概ね良好 ② 一層の拡充が必要 ③ 縮小の方向で検討すべき ④ 一部改善が必要	【所 見】 婚活推進と国際交流推進については、課題を改善しながら、取り組みを今後も継続してもらいたい。		
【事 業】 56 結婚推進事業	【所 管】 企画調整課企画調整係	【評価結果】： C あまり達成できていない 【今後の方向性】： 4 一部改善が必要 【所 見】： 県や近隣市町、やまがた出会いサポートセンター等と連携を図りながら広域的な取り組みを継続して展開していくとともに、従来型の婚活イベントについても、酒田市や鶴岡市で主催するイベントとの連携や、民間事業者の活用も視野に入れながら事業を推進していく必要がある。	
【取 組】 ○婚活事業を実施する個人や団体補助（令和5年度まで） ○結婚に伴う新生活に係る費用補助 ○やまがたハッピーサポートセンターの登録費用補助 ○庄内2市3町及び県との合同開催による婚活イベントへの事業参画（令和6年度より）			
【事 業】 57 ふるさと会交流促進事業	【所 管】 産業振興課商工観光係	【評価結果】： B 概ね達成できている 【今後の方向性】： 2 現状維持 【所 見】： 望郷みかわ会会員が減少しているため、会員増加につながるよう支援していく必要がある。	
【取 組】 ○望郷みかわ会活動に対する支援			
【事 業】 58 国際交流推進事業	【所 管】 教育委員会教育課学校教育係	【評価結果】： B 概ね達成できている 【今後の方向性】： 4 一部改善が必要 【所 見】： コロナ禍により令和2年度より派遣を伴う交流を控え、オンライン交流に切り替え実施している。令和3年度、令和4年度は、マクミンビル市とのオンライン交流を実施。令和5年度は、相手方の事情によりマクミンビル市とのオンライン交流の実施が出来なかったが、小学6年生児童とアーバイン市児童・生徒とのオンライン交流を実施している。今後も多様な交流の仕方を模索していく必要がある。	
【取 組】 ○オンラインを活用した国際交流事業の推進			

令和５年度 施策評価調査書

基本目標 (政策) ※第4次	46 みかわブランドをいかした交流人口・関係人口の拡大		
施 策 ※第4次	03 移住・定住		
内 容	【現 状】 ライフスタイルや価値観の多様化、経済状況等様々な要因により、少子社会の今日、移住・定住を促進する取り組みの重要性はますます高まっている。 【課 題】 移住・定住を促進するためには、補助金や各種支援制度の充実が求められている。		
【外部評価結果】 ① 概ね良好 ② 一層の拡充が必要 ③ 縮小の方向で検討すべき ④ 一部改善が必要		【所 見】 取り組みを今後も継続してもらいたい。	
【事 業】 59 移住定住促進事業	【所 管】 建設環境課建設係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持	
【取 組】 ○町外からの移住のための住宅取得に対する支援		【所 見】 : 定住促進並びに地域経済の活性化を図るため、今後も移住者を増やす取り組みを継続する必要がある、テオトルタウン分譲とともに本事業の周知活動に取り組む必要がある。	
【事 業】 60 若者定着奨学金返還支援事業	【所 管】 産業振興課商工観光係	【評価結果】 : A 達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持	
【取 組】 ○奨学金の返還に対する支援 ○県との連携事業。令和２年度まで若者定着奨学金返還支援事業として地方創生枠と市町村連携枠あり。令和３年度よりやまがた就職促進奨学金返還支援事業として実施。		【所 見】 : 県と連携し、若者が地元に戻り就業、定住することを促進するための取り組みとして継続していく必要がある。	
【事 業】	【所 管】	【評価結果】 : 【今後の方向性】 : 【所 見】 :	
【取 組】			

令和５年度 施策評価調書

基本目標 (政策) ※第4次	47 安定した生活基盤を支えるインフラ整備		
施 策 ※第4次	01 土地利用		
内 容	【現 状】 適正で秩序ある土地利用の推進を基本としながら、地理的条件の優位性や道路網等の社会基盤の整備を進めることにより、民間による商業集積や工業団地、産業団地の開発が進められてきた。 今後も土地利用の需要を把握しながら、適正な土地利用の推進を図る必要がある。 【課 題】 雇用の場の確保として開発を進めてきた「みかわ産業団地」については、計画区域内最後の区画の分譲が終了し、今後新たな工業団地、産業団地の開発のため、農用地との土地利用調整も含めた計画策定が求められる。 また、定住促進策として新たな住宅団地の開発を検討しており、排水対策の検討と併せて、具体的な開発手法を検討する必要がある。		
【外部評価結果】 1 概ね良好 2. 一層の拡充が必要 3. 縮小の方向で検討すべき 4. 一部改善が必要		【所 見】 関係人口や雇用の創出・拡大に向けて取り組みを今後も継続してもらいたい。	
【事 業】 61 地域開発推進事業	【所 管】 企画調整課開発係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 3 一層の拡充が必要 【所 見】 :	
【取 組】 ○産業団地拡張に向けた実施計画の策定 ○新たな住宅団地形成のために必要な調査・調整 ○重要事業に係る要望事業活動の展開		三川町土地開発公社を事業実施主体にし、産業団地については、用地測量等の事業を実施し、令和８年度の方譲に向けて、引き続き事業を推進していく必要がある。 住宅団地開発については、令和５年度造成工事が完了し、分譲を開始した。住宅開発については、分譲完了に向けて一層の取り組みが必要である。	
【事 業】	【所 管】	【評価結果】 : 【今後の方向性】 : 【所 見】 :	
【取 組】			
【事 業】	【所 管】	【評価結果】 : 【今後の方向性】 : 【所 見】 :	
【取 組】			

令和５年度 施策評価調査書

基本目標 (政策) ※第4次	47 安定した生活基盤を支えるインフラ整備		
施 策 ※第4次	02 道路・側溝等整備		
内 容	【現 状】 町が管理する道路や橋梁などのインフラ施設は、高度成長期などに集中的に整備されており、老朽化が進んでいる。 【課 題】 インフラ施設は、町民の快適で利便性の高い安定した生活や産業の基盤となるものであることから、安全で安心して利用できる施設とするための整備が必要である。		
【外部評価結果】 ① 概ね良好 ② 一層の拡充が必要 ③ 縮小の方向で検討すべき ④ 一部改善が必要		【所 見】 限られた予算で適切に実施してもらっており、今後も継続してもらいたい。	
【事 業】 62 道路舗装事業	【所 管】 建設環境課建設係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所 見】 :	
【取 組】 ○交通量が多く舗装路面の損傷が多い路線の計画的な舗装改修整備		令和５年度は宅地開発事業により一時的に経費が増加した。舗装路面の亀裂・沈下等の経年劣化が進行していることから、道路舗装の長寿命化・コストの縮減・予算の平準化を図りながら、道路長寿命化修繕計画に基づいた計画的な修繕が必要である。	
【事 業】 63 側溝整備事業	【所 管】 建設環境課建設係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所 見】 :	
【取 組】 ○道路冠水が発生する路線等に係る計画的な道路側溝の整備		異常気象等によりゲリラ豪雨が多発する傾向にあるため、浸水被害の多い箇所について側溝整備を進めるとともに、狭隘道路の側溝整備により道路幅員を確保し、安全な道路環境の整備に努めていく必要がある。	
【事 業】 64 橋梁長寿命化対策事業	【所 管】 建設環境課建設係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所 見】 :	
【取 組】 ○橋梁長寿命化対策に係る点検、維持補修工事の計画的な実施		定期的な橋梁点検により損傷状況の把握を行い、老朽橋梁について計画的な維持修繕工事を実施し、安全な交通を確保していく必要がある。	

令和５年度 施策評価調査書

基本目標 (政策) ※第4次	47 安定した生活基盤を支えるインフラ整備		
施 策 ※第4次	03 交通体系		
内 容	【現 状】 本町のみならず庄内全域の発展に資する高速交通網の整備や高齢者等の交通弱者の生活交通手段の確保を図る必要性がある。その中で、日沿道の整備については、新潟・秋田の両県境区間が都市計画段階評価の対象となり、大きく前進している。 町内を運行するデマンド型乗合タクシーは、登録者は増えているものの、利用者が減少傾向にある。 【課 題】 日沿道をはじめとする高速交通網の早期着工については、引き続き関係自治体や地域の住民・企業等と連携して、一層の要望活動を展開する必要がある。 デマンド型交通システムについては、大幅な利用者数の落ち込みに対し、利用者ニーズに対応した事業展開を図らなければならない。		
【外部評価結果】 ① 概ね良好 ② 一層の拡充が必要 ③ 縮小の方向で検討すべき ④ 一部改善が必要		【所 見】 日沿道の早期全線開通に向けて、関係機関への要望を継続してもらいたい。	
【事 業】 65 高速交通網整備促進対策事業	【所 管】 企画調整課開発係	【評価結果】： B 概ね達成できている 【今後の方向性】： 3 一層の拡充が必要 【所 見】：	
【取 組】 ○日沿道の早期開通、羽越新幹線整備、新庄酒田地域高規格道路等の建設促進に向けた要望活動 ほか ○庄内空港の利用促進		日沿道の早期全線開通に向けて、両県境区間等のさらなる事業進展が望まれる。また、令和４年３月２６日より期間限定で５便化した庄内空港に関しては、県・庄内２市３町連携事業等の実施により、５便化の通常化と空港利用拡大に向け支援を行っていく必要がある。 高速交通網の整備については、引き続き地域間の連携を図りながら粘り強く要望活動を行っていく。	
【事 業】 66 地域公共交通推進事業	【所 管】 企画調整課企画調整係	【評価結果】： B 概ね達成できている 【今後の方向性】： 3 一層の拡充が必要 【所 見】：	
【取 組】 ○デマンド型交通（デマンドタクシー）システムの運行		デマンドタクシーの運行については、路線定期運行バスの今後の状況を注視しつつ、運行事業者と調整しながら町外運行の実現など利用者の目線に立った拡充策を検討する必要がある。	
【事 業】	【所 管】	【評価結果】： 【今後の方向性】： 【所 見】：	
【取 組】			

令和5年度 施策評価調書

基本目標 (政策) ※第4次	47 安定した生活基盤を支えるインフラ整備		
施 策 ※第4次	12 上下水道（下水特会）		
内 容	【現 状】 下水管路（汚水）整備は、既存住宅区域のほぼ全域で完了している。なお、近年頻繁に発生する異常気象等による自然災害から、住民の生命と財産の保全を図るため、豪雨による浸水（雨水）被害の防止等を図るため、排水路・ポンプ場整備を早急に進める必要がある。 【課 題】 下水管路（汚水）整備及び流域公共下水道の整備については、宅地開発の動向を注視しつつ、計画的な実施が不可欠である。また、排水ポンプ施設の整備は、赤川の河道掘削や月山ダムの洪水調整機能等も考慮し、その整備手法について、調査研究していく必要がある。		
【外部評価結果】 ① 概ね良好 ② 一層の拡充が必要 ③ 縮小の方向で検討すべき ④ 一部改善が必要		【所 見】 取り組みを今後も継続してもらいたい。 【企業会計へ移行するため、本分科会での評価は令和5年度分が最後となる】	
【事 業】 67 下水道事業	【所 管】 建設環境課環境整備係	【評価結果】： B 概ね達成できている 【今後の方向性】： 8 その他（ 地方公営企業化 ） 【所 見】：	
【取 組】 ○特定環境保全公共下水道の整備 ○最上川下流流域下水道庄内処理区建設負担金 ○公営企業会計への移行【令和6年度より】		下水道ストックマネジメント（修繕・改築）計画に基づいて、引き続き下水道施設の改築等を行っていく必要がある。また、重要インフラとして持続可能な経営を行うため、令和6年度までに公営企業会計の適用が求められていたことから、移行作業に取り組んだ。	
【事 業】	【所 管】	【評価結果】： 【今後の方向性】： 【所 見】：	
【取 組】			
【事 業】	【所 管】	【評価結果】： 【今後の方向性】： 【所 見】：	
【取 組】			

令和５年度 施策評価調査書

基本目標 (政策) ※第4次	48 自然と調和した住環境の整備		
施 策 ※第4次	01 住環境		
内 容	【現 状】 人口の減少が進むなか、定住人口の増加を目指して住宅建設費補助を行うことにより、町内建設業等の振興と定住人口の増加が図られている。 【課 題】 平成23年度から実施している「山形県住宅リフォーム総合支援事業」との整合性を図る必要がある。さらに、安全・安心な生活空間確保を図るため、既存住宅の建替え、建設、新築・中古住宅の購入促進施策を一層推進していかなければならない。		
【外部評価結果】 ① 概ね良好 ② 一層の拡充が必要 ③ 縮小の方向で検討すべき ④ 一部改善が必要		【所 見】 取り組みを今後も継続してもらいたい。	
【事 業】 68 住まいづくり支援事業	【所 管】 建設環境課建設係	【評価結果】 : C あまり達成できていない 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所 見】 :	
【取 組】 ○住宅建設・購入に係る費用の補助 ○住宅リフォーム、危険ブロック塀等撤去に対する補助 ○住宅用太陽光発電システム設置補助		核家族化の進展や安全・安心な生活空間の確保など住宅に関する多様な需要に応じた支援を行っている。国において同様の補助制度を実施したため、補助件数が目標より下回っているが、テオトルタウンの分譲が開始した中、山形県住宅リフォーム総合支援事業を活用しながら、住まいづくりに対する支援を継続していく必要がある。	
【事 業】 69 雨水対策推進事業	【所 管】 建設環境課環境整備係	【評価結果】 : B 概ね達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所 見】 :	
【取 組】 ○雨水排水の現況を調査し、必要に応じて雨水排水施設の整備を実施する。		令和５年度は、国と県の補助を受け、歌枕排水機場の除塵機改修工事を実施した。浸水被害の発生が予想される地域において、今後も引き続き雨水排水計画等に基づく排水路整備等に取り組んでいく必要がある。	
【事 業】	【所 管】	【評価結果】 : 【今後の方向性】 : 【所 見】 :	
【取 組】			

令和５年度 施策評価調査書

基本目標 (政策) ※第4次	48 自然と調和した住環境の整備		
施 策 ※第4次	02 空き家等対策		
内 容	【現 状】 ○高齢化や核家族化の進展により空き家等の増加が見込まれている。 ○適正な管理が行き届いていない老朽危険空き家等による周囲への悪影響が懸念されている。 【課 題】 ○空き家については、所有者による適正な管理を促すとともに、老朽危険空き家等の増加を抑制する必要がある。		
【外部評価結果】 ① 概ね良好 ② 一層の拡充が必要 ③ 縮小の方向で検討すべき ④ 一部改善が必要		【所 見】 今後も粘り強く取り組むべきである。	
【事 業】 70 空き家対策支援事業	【所 管】 建設環境課建設係	【評価結果】： C あまり達成できていない 【今後の方向性】： 3 一層の拡充が必要 【所 見】：	
【取 組】 ○老朽危険空き家の増加抑制 ○空き家バンク事業による支援 ○老朽危険空き家等の解体への補助		老朽危険空き家の適正な管理の周知に加え、空き家に関する無料相談会等により空き家バンクや老朽危険空き家等解体促進事業等の周知を図るとともに、老朽危険空き家の発生を抑制する意識の醸成を一層促進していく必要がある。	
【事 業】	【所 管】	【評価結果】： 【今後の方向性】： 【所 見】：	
【取 組】			
【事 業】	【所 管】	【評価結果】： 【今後の方向性】： 【所 見】：	
【取 組】			

令和５年度 施策評価調査書

基本目標 (政策) ※第4次	48 自然と調和した住環境の整備		
施 策 ※第4次	04 廃棄物処理		
内 容	【現 状】 限られた資源を大切にする資源循環型社会の構築を図るためには、ごみの適正処理や減量化、さらには、廃棄物の再資源化など、資源の有効活用が求められている。協働推進会議等でも、地球温暖化防止やごみ処理量の削減、ごみの適正分別については、住民の関心も高くその重要性について浸透しつつある。 しかし、全町民からの理解と協力を得るところまでは至っておらず、より具体的な削減方法の周知と効果的な啓発方法を調査検討していくことが必要である。 【課 題】 リサイクルの推進やごみの減量化に取り組む住民も増えつつはあるものの、全町民からの理解と協力を得るところまでには至っておらず、取り組みの継続と効果的な啓発方法について検討する必要がある。また、一般廃棄物の処理については、ごみステーション数の増加が課題である。 その他県内で増加しているごみ処理の有料化についても鶴岡市とともに調査研究していく必要がある。		
【外部評価結果】 ① 概ね良好 ② 一層の拡充が必要 ③ 縮小の方向で検討すべき ④ 一部改善が必要	【所 見】 みかわエコチャレンジは評価される取り組みであり、今後も継続してもらいたい。		
【事 業】 71 ごみ減量化等促進対策事業	【所 管】 建設環境課環境整備係	【評価結果】： B 概ね達成できている 【今後の方向性】： 3 一層の拡充が必要 【所 見】：	
【取 組】 ○資源リサイクルステーションの管理 ○町内会等における資源回収の支援 ○生ごみの減量化 ○資源ごみの回収促進		令和２年度改訂作業を実施した三川町一般廃棄物処理基本計画に基づき、ごみ減量化対策の充実を図る必要がある。令和５年度より、リユース・リサイクルの促進について企業と連携した「みかわエコチャレンジ」を新たに実施しており、更なるごみ減量化を図る必要がある。	
【事 業】 72 廃棄物処理事業	【所 管】 建設環境課環境整備係	【評価結果】： B 概ね達成できている 【今後の方向性】： 2 現状維持 【所 見】：	
【取 組】 ○ごみ収集運搬業務の委託 ○廃棄物処理業務の委託 ○ごみ収集車の維持管理		廃棄物の処理業務は、町民が日常生活を営む上で必要不可欠なものであり、環境に配慮した適正な収集運搬及び廃棄物の処理業務を継続していく必要がある。	
【事 業】	【所 管】	【評価結果】： 【今後の方向性】： 【所 見】：	
【取 組】			

令和５年度 施策評価調査書

基本目標 (政策) ※第4次	48 自然と調和した住環境の整備		
施 策 ※第4次	05 環境対策		
内 容	【現 状】 地球温暖化防止対策の推進は、全世界的な課題であり、各地域での取り組みの重要性が増している。さらに東日本大震災以降の電力不足に対する節電のためにも本事業の重要性が増してきている。その根本となる温室効果ガスの排出抑制等について、グリーンカーテンを設置することにより、電気使用量抑制の実践活動と、来庁者への啓発活動、循環型社会の構築など、地球温暖化防止に対する抑制と啓発につながる。 森林は、洪水・渇水の緩和、土砂流出や地球温暖化の防止など様々な働きを持ち、私たちに多くの恵をもたらしている。しかし、木材価格の低迷や農山村地域の過疎化、化石燃料に依存した生活様式の変化などから、林業離れや人と森との関わりの希薄化が進み、手入れの行き届かない森林が増加し、森林全体の公益的機能を維持・保全することが困難になっている。 【課 題】 地球温暖化防止の必要性について、さまざまな啓発活動を行いながら豊かな自然環境を保全する取り組みについて、町民それぞれの立場の中で実践できるように継続的に情報提供を行う必要がある。 森・川・海をつなぐ水環境や森林等の自然環境を維持していくためにも、森林の公益的機能を回復・保全する取り組みを引き続き継続する必要がある。		
【外部評価結果】 ① 概ね良好 ② 一層の拡充が必要 ③ 縮小の方向で検討すべき ④ 一部改善が必要		【所 見】 取り組みを今後も継続してもらいたい。	
【事 業】 73 みどり豊かな環境づくり推進事業	【所 管】 産業振興課農政係	【評価結果】： B 概ね達成できている 【今後の方向性】： 2 現状維持 【所 見】：	
【取 組】 ○県みどり環境交付金を活用した森や自然とのふれあい活動及び県産材を活用した木育活動		本県の豊かな緑を県民共有の財産として健全な状態で未来に引き継ぐためにも、さまざまな体験活動を通じ町民に対して、森林の保全や自然環境に関する教育などを続けていく必要がある。	
【事 業】 74 地球温暖化防止推進事業	【所 管】 建設環境課環境整備係	【評価結果】： B 概ね達成できている 【今後の方向性】： 2 現状維持 【所 見】：	
【取 組】 ○地球温暖化対策地域協議会に対する活動支援 ○公共施設へのグリーンカーテンの設置 ○環境展等による環境教育の啓発		地球温暖化対策地域協議会の活動支援と、環境に配慮した活動の実践などを通じて温室効果ガス削減の必要性等を広く町民に周知していく必要がある。令和５年度は緑のカーテンの普及啓発のほか、イオンモール三川での環境に関する展示の中で、地球温暖化に関するパネル展示を実施し、より多くの方へ周知することができたところであり、今後も機会をとらえて同様の事業を継続し実施していく必要がある。	
【事 業】	【所 管】	【評価結果】： 【今後の方向性】： 【所 見】：	
【取 組】			

令和５年度 施策評価調査書

基本目標 (政策) ※第4次	49 町民総参加によるまちづくりの推進		
施 策 ※第4次	01 町民参画		
内 容	【現 状】 人口減少・高齢化時代の到来にともない、これまで地域コミュニティが担ってきた活動が衰退し、行政ニーズの増加につながっていくことが予想される。自らの地域づくりや課題解決に向けた取り組みについては、行政がすべて支援するのではなく、地域住民が力を合わせて「協働」による取り組みを推進しながら、地域コミュニティの活性化に向けた支援体制を維持している。 【課 題】 「協働」に対する意識醸成と取り組みの活性化を図るため、協働事業提案制度を活用しながら、自らからの地域課題解決に取り組む団体等を育てる必要がある。		
【外部評価結果】 ① 概ね良好 ② 一層の拡充が必要 ③ 縮小の方向で検討すべき ④ 一部改善が必要		【所 見】 取り組みを今後も継続してもらいたい。	
【事 業】 75 協働のまちづくり推進事業	【所 管】 企画調整課企画調整係	【評価結果】： B 概ね達成できている 【今後の方向性】： 4 一部改善が必要 【所 見】：	
【取 組】 ○町内会が実施する施設整備等への支援 ○町内会や各種団体による主体的な協働活動への支援		ごみステーションや掲示板等の整備事業に対する利用実績は高く、今後も高いニーズが見込まれる。一方で、協働提案事業による実績は低く、参考事例の提示などにより、引き続き町民の自主的な協働事業の創出を促していく必要がある。	
【事 業】 76 地域づくり活動推進事業	【所 管】 企画調整課企画調整係	【評価結果】： B 概ね達成できている 【今後の方向性】： 2 現状維持 【所 見】：	
【取 組】 ○町内会総合交付金の交付 ○コミュニティ活動支援員の派遣 ○移住交流促進のためのPR・相談活動		まちづくりのためには、地域の自主的な取り組みが不可欠であり、今後もその取り組みを支援していくため、財政的支援やコミュニティ活動支援員の派遣などに引き続き取り組んでいく必要がある。	
【事 業】	【所 管】	【評価結果】： 【今後の方向性】： 【所 見】：	
【取 組】			

令和５年度 施策評価調査

基本目標 (政策) ※第4次	49 町民総参加によるまちづくりの推進		
施 策 ※第4次	02 行財政改革		
内 容	【現 状】 地方分権の進展及び多様化する行政ニーズに対応しながらも、交付税をはじめとした財源確保が厳しいなか行政運営を行っていくためには、人員適正化計画に伴う職員の適正配置をはかりつつ、行政事務の大幅な効率化を図っていく必要がある。 地方分権が進み、地方自治体に自己決定と自己責任に基づく自主自立の精神が強く求められ、職員には制度を画一的に執行する能力だけでなく、高い専門性と多様な住民ニーズに応え、行政課題を着実に解決する能力が求められる。 【課 題】 人員の適正化に伴い、人件費の抑制を図るためには、行政事務を効率的に運用し、なおかつ行政サービスの質的向上を図るために民間や専門業者への業務委託等を活用していく必要がある。 今後ますます推し進められる地方分権に対応するためには、職員の資質の向上が不可欠であり、そのためには計画的に研修を積み重ねる必要がある。		
【外部評価結果】 ① 概ね良好 ② 一層の拡充が必要 ③ 縮小の方向で検討すべき ④ 一部改善が必要	【所 見】 取り組みを今後も継続してもらいたい。		
【事 業】 77 電子自治体推進事業	【所 管】 企画調整課企画調整係	【評価結果】 : A 達成できている 【今後の方向性】 : 3 一層の拡充が必要 【所 見】 :	
【取 組】 ○情報ネットワークと各種システム、関連機器の管理 ○社会保障・税番号制度対応業務 ○情報セキュリティ強化対策 ○自治体行政システム標準化及びDXの推進		行政事務手続き等のデジタル化の動きが加速しており、本町でも国が示す方針に沿って展開していく必要がある。今後も情報システムの一層のセキュリティ強化を行うとともに可能な限りコスト削減に努めていく必要がある。	
【事 業】 78 戸籍システム推進事業	【所 管】 町民課住民係	【評価結果】 : A 達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所 見】 :	
【取 組】 ○戸籍システムの整備・管理・運営 ○戸籍副本データ管理システムの整備 ○戸籍へ氏名の振り仮名を追加する機能整備		戸籍事務内連携の対応のために必要な戸籍システムの改修を行うことで、戸籍に関する手続きの簡素化や簡略化を進めることができた。今後は、戸籍に氏名の振り仮名を追加するためのシステム改修を推進する。	
【事 業】 79 学校給食調理業務等委託事業	【所 管】 教育委員会教育課学校教育係	【評価結果】 : A 達成できている 【今後の方向性】 : 2 現状維持 【所 見】 :	
【取 組】 ○小・中学校における給食調理業務等の民間委託		民間業者の専門的な技術と経験を活用するために学校給食調理業務を委託している。増加傾向にある食物アレルギーをもつ児童生徒に適切に対応しながら、「自校調理方式」による安全・安心な学校給食の提供を継続していく必要がある。	